

# ～各教科等で学びを深める授業改善のポイント～

## 国語

単元の課題解決に向けて、話や文章を理解したり表現したりしたことを、言葉や文、図表を根拠として挙げながら、言葉に着目して吟味するための交流活動を設定しましょう。

## 算数 数学

問題発見・解決の過程で生じる気付きや方法、理由等を出させ、問題場面や言葉、数、式、図、表、グラフなどを関連付けながら自他の考えを学び合う活動を設定しましょう。

## 生活

児童の思いや願いに沿った必然性のある学習活動を展開する中で、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどして、分析的・創造的に考える場を設定しましょう。

## 図画工作 美術

表したいこと・主題を、自らの思いや願いから生み出したり、深めたりする時間を題材に応じて位置付け、つくり・つくりかえる試しの活動やイメージを広げる交流の場を設定しましょう。

## 家庭 家庭分野

これまでに学習した知識及び技能や生活経験を基に、家族・家庭や地域における生活を見つめることを通して、生活の中から問題を見だし、解決すべき題材を貫く課題を設定するようにしましょう。

## 外国語活動 外国語

実生活と関連付けた目的、場面、状況を意識し、既習表現を駆使しながら自分の思いや考えなどを伝え合う言語活動を設定しましょう。

## 特別の教科 道徳

多様な考えを引き出す中心発問と、本音を引き出す問い返しやゆさぶりなどの補助発問を構成し、児童生徒の考えを広げたり、深めたりする場面を設定しましょう。

## 総合的な学習の時間

探究課題と出会う場面において、共通の体験活動や専門家の話を聞く機会など、児童生徒が自分事として課題を捉えられるような活動を意図的に設定しましょう。

## 幼児教育

幼児の主体的・創造的な活動が生まれやすく展開しやすい環境の構成や適切な援助を行いましょう。

[就学前のぐんまの子どもはぐくみプラン](#)

## 社会

諸資料から読み取れる情報を根拠とし、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したことや、社会に見られる課題の解決に向けて考えたことについて、他者と語り合う活動を設定しましょう。

## 理科

日常生活や社会との関連を重視した単元構想をするとともに、問題解決（探究）の過程では、問題（課題）に対して、多面的な視点からより妥当な考えをつくり出す活動を設定しましょう。

## 音楽

音や音楽によって喚起された自己のイメージや感情を手掛かりに、他者と協働する中で聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、音楽表現の工夫を様々に試したり、曲や演奏のよさや美しさを確かめながら音楽を聴き返したりする活動を設定しましょう。

## 体育 保健体育

<運動領域・体育分野>

各領域の特性や魅力に応じた興味や意欲を高め、身体活動量を十分に確保するとともに、自己や仲間の課題を見付け、仲間と積極的に関わりながら課題を解決する活動を設定しましょう。

<保健領域・保健分野>

身の回りの生活に基づいた学習活動を進める中で、教材、発問、1人1台端末の活用等を工夫し、児童生徒に自分の考えを持たせ、自他の気付きや意見を生かした課題を解決する活動を設定しましょう。

## 技術分野

社会とのつながりを踏まえ、身近な生活の中から技術に関わる問題を見だし、それに関する調査等に基づき、現状をさらに良くしたり、新しいものを生み出したりするために解決すべき課題を設定するようにしましょう。

## 特別活動 (学級活動)

話し合いのルールを踏まえ、意見の違いや多様性を認め合い、一個人として折り合いをつけて「合意形成」を図ったり、自分に適しているかを客観的に見つめ直し、一人一人が「意思決定」したりする活動を設定しましょう。

[「総合的な学習の時間で児童生徒も教師も楽しく探究」リーフレット](#)